

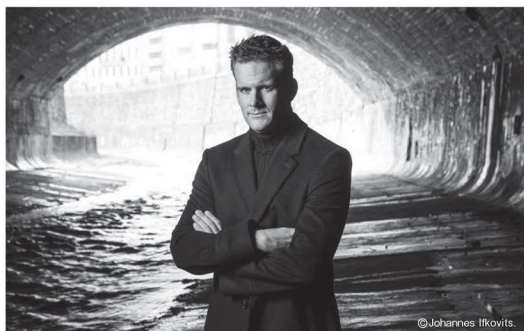
ウィーン国立歌劇場、次期音楽監督就任！
今、世界のクラシック音楽界から、最大の注目を集める！！

フィリップ・ジョルダン

バイロイト音楽祭「ニュルンベルクのマイスタージンガー」公演レポート！

2020年、ウィーン国立歌劇場の音楽監督に就任することが発表された、スイス出身の指揮者、フィリップ・ジョルダン。バイロイト音楽祭への登場は、2012年の『バルジファル』以来2度目。事前の雑誌へのインタビューでは、「スイスの生まれであることもあり、ドイツにおけるバイロイトの熱狂にやや距離をとって接していたが、実際に関わるようになって、それが自分の誤解であった」ことを率直に認め、純粋にワーグナーを愛し、献身的にその作品を演奏したいと思う人たちの集まりであるこの場を称賛している。

バリ・コスキー演出による『マイスタージンガー』は、近年では稀に見る成功を収めた。作品・上演史とは切り離せないにもか



©Johannes Itkovits

わらず、いままで真正面から取り上げられることのなかった反ユダヤ主義など、この作品の意義を問いただす、まさにこの劇場で上演するからこそ意義のある演出を作り上げたためである。ワーグナーがコジマへの手紙で自分をザックスと呼んでいたこと、「自分はエーファと結婚したのだ」と言及した事実を踏まえ、ワーグナーは、劇中の登場人物であるヴァルターにもザックスにもみずから物語を構築した手腕は卓越したものであった。

また、演出家がワーグナーの音楽を知り尽くしていることにも驚かされた。細かな音楽とシンクロするように、さまざまに動き回るマイスターたち。指揮者ジョルダンと演出家コスキーの意思疎通が完璧にはかられており、演出がある程度の「間」を必要とする場合には、それをきちんと音楽が待つ、という瞬間もあちこちに見られた(第3幕冒頭、ザックスのモノローグや、ヴァルターが自作の歌の第1節を歌い終わり、第2節を考へる手前など)。お互いがお互いを邪魔するのではなく助け合い、歌手にも十分に演じ、歌う余裕を与えており、オペラにおいて稀有な舞台が実現していた。次世代の音楽界を担うジョルダンが秋の来日でどのような境地を聴かせてくれるか、期待は尽きない。

広瀬大介(音楽評論家)

<CD>

フィリップ・ジョルダンとバリ・オペラ座管弦楽団の『展覧会の絵』発売中!

Mussorgsky: Pictures at an Exhibition,
Prokofiev: Symphonie No.1 /
ムソルグスキー／ラヴェル編曲「展覧会の絵」、
プロコフィエフ：「古典交響曲」(SACDハイブリッド)
¥3,000+税/WPCS-13658



パリ国立オペラ座の音楽監督としての活躍で大きな評価を受け、「ダフニスとクロエ」は2015年度のレコード・アカデミー賞「管弦楽部門」を獲得しているフィリップ・ジョルダンの最新録音。オペラ座のオーケストラの能力を完全に引き出した傑作「展覧会の絵」。

『展覧会の絵』はムソルグスキーが、友人であったヴィクトル・ハルトマン(ガルトマンとも)の遺作展を歩きながら、そこで見た10枚の絵の印象を音楽に仕立てたもの。原曲はピアノ演奏用で、1922年、フランスのラヴェルが、指揮者ケーゼヴィツキーの依頼で『展覧会の絵』を管弦楽へと編曲、原曲のロシア的な要素を重視するよりもオーケストラ作品としての華やかな色彩を与えることを企図し成功しており、人気作品となっている。

『古典交響曲』は、プロコフィエフが音楽院在学中にニコライ・チェレプニンの教室で研究したハイドンの技法をもとに、「もしもハイドンが今でも生きていたら書いたであろう作品」として作曲したので、「古典交響曲」と名付けた。モダンな作風で知られていたプロコフィエフが、この曲で一転して軽快で解り易く美しい作風を示したことは周囲を驚かせた。

<映画>

フィリップ・ジョルダンも登場!

新世紀 パリ・オペラ座 The Paris Opera

12月9日(土)

Bunkamura ル・シネマ他にて全国順次ロードショー
フランスで、オペラ座ドキュメンタリー映画史上No.1
記録樹立の話題作、日本公開決定!



出演:
<オペラ座総裁>
ステファン・リスナー
<バレエ芸術監督>
バンジャマン・ミルビエ、オレリー・デュボン
<音楽監督>
フィリップ・ジョルダン
<オペラ演出>
ロメオ・カステルッチ
<オペラ歌手>
プリン・ターフェル、ヨナス・カウフマン、
オルガ・ベレチャコフ、他

gaga.ne.jp/parisopera



©Johannes Itzkovits

インタビュー

指揮者フィリップ・ジョルダン その人と音楽

中村真人 ジャーナリスト・ベルリン在住

「私の考えでは、ブラームスはあまり重く演奏すべきではありません。叙情性と室内楽の精神、そしてシューマンの音楽のような親密さが必要です。交響曲第1番の冒頭はあくまでフォルテ。世界の多くのオーケストラはフォルティッシモで演奏しますが、大きな誤解だと思っています」

ウィーンのカフェでのインタビューで、フィリップ・ジョルダンは端正な表情でこう語った。この時私はジョルダンという指揮者の内面的で繊細な側面を垣間みた思いがした。

フィリップ・ジョルダンは1974年、指揮者アルミン・ジョルダンの息子としてチューリッヒに生まれた。スイス・ロマンダ管弦楽団の首席指揮者を務めるなど、著名な指揮者である父親を見て育った影響はやはり大きかったようだ。6歳でピアノを始めるも、「1人ではなく、人と共に創造的な仕事をする」ことに惹かれて9歳の時にはもう指揮者になりたいと思ったという。チューリッヒはスイスの中でもドイツ語圏の都市で、この街で音楽や演劇、オペラ、ミュージックテアターに深く結びついた生活を送ったことがジョルダンの芸術の基礎を形成した。ウィーン交響楽団のコンサートマスター、ピリ・ビュヒラーはジョルダンについて「特にマエストロはドイツ・ロマン派に精通しています。ドイツ文学

をよく理解している、作品が本来こうあるべきだという姿で表現することが出来るのです」と述べているが、それは冒頭のジョルダンの言葉とも重なり合う。

ジョルダンは、昨今では数少ない劇場でのたたき上げの指揮者といえる。早くも19歳の時にウルム市立歌劇場のコレペイトウアとして最初のキャリアを積み始め、後にカペルマイスターになる。大きな転機になったのは、1998年から4年間、ベルリン国立歌劇場でダニエル・バレンボイムのアシスタントを務めたことだろう。筆者がジョルダンの名前を知り、頻繁に実演に接したのもこの頃だった。興味深いことに、ジョルダンがバレンボイムから学んだ特に大きな点は、「答えを出すことではなく、問いかけること」だったという。「誰かを真似したりコピーしたりするのはなく、自分で自分の解釈を見つけないこと。ベートーヴェンの交響曲も、常に新しい問いを投げかけ、その度に違う答えが出てくるものだと思います。答えが1つしかないのならそれは死んだ音楽と同じです」

バレンボイムの背中を見ながら、多くの公演を振る機会に恵まれたジョルダンは、そこでさらにレパートリーを広げ、表現を深めることになった。現在彼は、パリ・オペラ座の音楽監督として年間約50の公演を振り、2014年からウィーン交響楽団の首席指揮者としてシンフォニーのレパートリーも積極的にこなす。早くから注目され、世界中を飛び回る現代のスター指揮者のような派手な道は歩まなかった一方、時間をかけてじっくりと音楽の養分を吸収できるオペラ、シンフォニーの両方で才能の花を咲かせようとしているのが、フィリップ・ジョルダンという音楽家なのである。

2017年7月

*インタビュー全文、来日直前までの活躍、リハサル動画はHPをご覧ください。

フィリップ・ジョルダン指揮 ウィーン交響楽団

2017年12月1日(金)
19:00(18:30開場)

◇メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲
ホ短調 作品64 榎本大進(ヴァイオリン)
◇マーラー：交響曲 第1番「巨人」二長調

S ¥22,000 A ¥18,000 B 売切 C 売切 D 売切 夢倶楽部会員料金 S ¥21,000 A ¥17,000 B 売切 C 売切 D 売切



©Keita Osada

2017年12月3日(日)
14:00(18:30開場)

◇ベートーヴェン：交響曲 第5番「運命」ハ短調 作品67
◇ブラームス：交響曲 第1番 八短調 作品68

S ¥20,000 A ¥16,000 B 売切 C 売切 D 売切 夢倶楽部会員料金 S ¥19,000 A ¥15,000 B 売切 C 売切 D 売切

サントリーホール

主催：ジャパン・アーツ

後援：オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム／オーストリア政府観光局／スイス大使館
協力：ワーナーミュージック・ジャパン

2017年11月26日(日)
15:00(14:20開場)

◇ベートーヴェン：交響曲 第5番「運命」ハ短調 作品67
◇マーラー：交響曲 第1番「巨人」二長調

S ¥18,000 A ¥15,000 B ¥11,000 C ¥8,000

横浜みなとみらいホール

主催：(公財)横浜市芸術文化振興財団

※料金には消費税8%が含まれております。

2017年日本公演スケジュール ★榎本大進出演

11月27日(月)	アクロス福岡	(問)アクロス福岡チケットセンター TEL.092-725-9112 ★
11月28日(火)	名古屋市民会館	(問)中京テレビ事業 TEL.052-588-4477
11月29日(水)	ハーモニーホールふくい	(問)TEL.0776-38-8288 ★
12月2日(土)	兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール	(問)芸術文化センターチケットオフィス TEL.0798-68-0255 ★

ジャパン・アーツぴあ (03)5774-3040 www.japanarts.co.jp/
横浜みなとみらいホールチケットセンター (045)682-2000(横浜公演)